

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		防犯資機材支給事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 後藤一男	
	施策	2	防犯対策の推進		所属課	総務課	担当者名 長島正和	
	基本事業	5	地域防犯対策の充実		所属班	交通防災班	(内線) 220	
					法令根拠	合志市生活安全条例 合志市防犯資機材支給要綱		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	成果優先度評価結果		
	1	2	1	4	10029	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	
							コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 結成された地域の自主防災組織等に防犯資機材を支給する。また、防犯組織未結成の地域に組織の結成を促す。 【業務の流れ】 防犯資機材(申請受付、発注、支払い、交付)、地域への主旨説明及び結成促進、結成、 【主な予算費目】 需用費(消耗品費)								

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 防犯資機材の支給を行った。(新規3団体 追加3団体) 要綱を改正し、資機材支給3年後、再支給の申請ができるようにした。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 防犯資機材の支給
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 自主防災組織	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 防犯資機材支給申請件数 件 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 資機材を活用して防犯活動ができている	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 防犯資機材の支給を受けた団体数 団体 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域での見守りをする	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 資機材を活用して効果的な防犯活動ができている団体の割合 % → イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 防犯パトロール団体数 団体 → イ 防犯パトロール団体の構成人数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度 1,060
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	300	399	367	367	367	367	
	(A) 事業費計	千円	300	399	367	367	367	367	367	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人		3	3	5	5	5	5		
延べ業務時間	時間		110	110	150	150	110	110		
(B)人件費計	千円	0	438	438	597	597	438	438		
トータルコスト(A)+(B)	千円	300	837	805	964	964	805	805		
活動指標	ア イ	件	8	5	2	6	2	2	2	
対象指標	ア イ	団体	8	5	2	6	2	2	2	
成果指標	ア イ	%	100	100	91.7	未把握	100	100	100	
上位成果指標	ア イ	団体 人	14 809	18 910	18 940		19 1,000	20 1,060	20 1,060	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

子供たちを守るのは親であり、また、地域を守るのは地域であるという認識がされてきた

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

人口の増加、大型ショッピングセンターの進出により、声かけ事案、商店での万引き等が増えてきた。
・毎年、少しずつではあるが、自主防犯団体の結成がなされており、地域の防犯に対する取組みが進んできた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・自主防犯団体から、支給された資機材が老朽化している、不足するとの意見があった。

事務事業名	防犯資機材支給事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 防犯資機材の支給を受けた団体が、資機材を活用して防犯活動ができていることが結果の「地域での見守りをする」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 生活安全条例で、安全な地域づくりのための環境整備は、市の責務としてうたっており結びつく
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 活動実績報告の中で、資機材の不足などで、効果的な活動ができていない、と回答された団体が1団体あった。要綱を改正し、再支給の規定を設けたので、今後、成果の向上が図れるものと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 住民の自ら地域を守ろうとする意識が薄れてくる可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 自主防犯団体への支援は、本事業のみである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 防犯資機材の購入のみの費用であり削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 酢急に要する事務であり、削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内の自主的に活動しようという防犯組織が対象であり公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効性に関しては、資機材の老朽化、不足などが原因で、効果的な活動ができていない、と思われる団体がある。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	○			向上				維持				低下			
	コスト																								
	削減	維持	増加																						
成果	○																								
向上																									
維持																									
低下																									

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
要綱を20年度で改正し、資機材の再支給、支給数の見直しを行っている。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)